



表紙, 目次. 社会問題研究編集規定, 執筆要項,
第62号編集委員会, 奥付, 裏表紙, Contents

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-04-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/10466/12780 |

社会問題研究

第62巻（通巻141号）

2013年2月

論説

満年齢で措置解除となった児童養護施設退所者へのアフターケア

：支援内容と支援時期との関連性の検証

..... 伊藤 嘉余子 ... 1

M-GTAによる「子育ての行き詰まりからの脱出」モデルの実践的活用

..... 山野 則子 田中 淳子 杉岡 利沙 浅野 真弓 ... 13

大阪府内の家庭児童相談室における人材育成の現状

－ アンケート調査結果報告 －

..... 関川 芳孝 松田 萌 ... 27

台北における遊民支援の制度的枠組みと補完的生活支援

..... 中山 徹 山田 理絵子 ... 43

精神障害に関するスティグマの定義と構成概念

：スティグマに関する研究の今後の課題

..... 山口 創生 木曾 陽子 米倉 裕希子 岩本 華子 三野 善央 ... 53

社会福祉実践におけるエビデンスとエビデンス構築の過程：理論から実践へ

..... 山口 創生 米倉 裕希子 岩本 華子 高原 優美子 三野 善央 ... 67

大阪府立大学 人間社会学部 社会福祉学科

社会問題研究編集規定

2012年1月20日改訂

1. 本誌は、大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科（本学科）の教員および大学院生等の研究発表あるいは内外の資料の紹介のためのものである。
2. 1年度に1度発行する。
3. 本誌に第1著者として投稿できるのは、本学科の専任教員、同じく博士後期課程在籍中の大学院生、および編集委員会が認めた者とする。
4. 投稿原稿の採否は編集委員会が決定する。
5. 投稿原稿は、所定の執筆要項にしたがうこと。
6. 編集委員会は、掲載原稿を電子的な手段で配布する権利を有するものとする。
7. 本学科の教授が定年退職をし、且つ、名誉教授になる場合、編集委員会は、学科会議における決定をえたうえで、当該教授の退職記念号を刊行することができる。

執筆要項

2011年1月20日改訂

1. 投稿原稿は、未発表のものとする。
2. 1編の投稿原稿の長さは、図表、注、引用文献、参考文献を含めて、原則として16000字以内とする。ただし、研究分野の性質に考慮する。
3. 投稿する原稿の執筆にあたっては、以下のことに留意すること。
 - (1) ワープロまたはパソコンで作成し、縦置きA4用紙に横書きで、1600字（40字×40行）で印字した原稿を3部提出する。
 - (2) 原稿には表紙をつけて、①日本語と英文のタイトル、日本語と英文のすべての筆名と所属、②投稿原稿の種類（論説、研究ノート、資料解説、翻訳資料、講演論文、書評等から選ぶ）、③審査結果やゲラの送付のため連絡先（郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス）を記載すること。
また、論文、研究ノートの場合、④日本語要旨（400字以内）と日本語キーワード（5語以内）、⑤英文要旨（200語以内）と英文キーワード（5語以内）を記載する。
 - (3) 図表は文中に挿入せず、別の用紙に記載し、本文に挿入箇所を明記すること。
4. 引用文献および参考文献の書式は、社会福祉学（日本社会福祉学会）等、内外の社会福祉及び関連学術団体の書式に準拠していなければならない。
5. 著者の肩書
 - (1) 学部教員は「大阪府立大学人間社会学部」。「社会福祉学科」はいれない。
 - (2) 大学院生は単に「大阪府立大学大学院生」とする。課程はいれない。
 - (3) 上記以外の場合、著者の指示に従うが、学部まで。
6. 英語のメインタイトルとサブタイトルそれぞれの最初の文字のみ大文字。地名や固有名等は必要に応じて大文字。メインタイトルとサブタイトルの間には半角のコロン「:」をいれる。コロンとサブタイトルの間は半角開ける。
7. 著者の英語の肩書
 - (1) 学部教員 Osaka Prefecture University
 - (2) 大学院生 Graduate student, Osaka Prefecture University

『社会問題研究』 第 62 号 編集委員会

編集委員長 関川 芳孝
編集委員 吉原 雅昭 小野 達也

2013年2月27日発行

社会問題研究 第62巻

通巻第141号

発行者 大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科
大阪府堺市中央区学園町1-1

印刷所 くすの木印刷
大阪府河内長野市緑ヶ丘北町25-24
電話 (0721) 54-6485

THE JOURNAL OF SOCIAL PROBLEMS

VOLUME 62 February, 2013

Contents

Articles

- Aftercare for the person discharged from Child Foster Care Institutions by the age limit
: Analysis about relation between the contents and the time of support as aftercare
..... Kayoko Ito ... 1
- Practical Application of the “Riddance of Child-Rearing Standoffs” Model from
Grounded Theory Approach
..... Noriko Yamano, Junko Tanaka, Risa Sugioka, Mayumi Asano ... 13
- Supervision for the staff of family and child consultation office in municipalities
within Osaka Prefecture
..... Yoshitaka Sekikawa, Moe Matsuda ... 27
- Institutional Frameworks for Homeless Support and the Development of
Complementary Livelihood Assistance in Taipei
..... Toru Nakayama, Rieko Yamada ... 43
- The definition and essential concepts of mental health related stigma
: Future problems in studies on stigma
..... Sosei Yamaguchi, Yoko Kiso, Yukiko Yonekura,
Hanako Iwamoto, Yoshio Mino ... 53
- Evidence and development process of evidence in social work practice
: Theory to practice
..... Sosei Yamaguchi, Yukiko Yonekura, Hanako Iwamoto,
Yumiko Takahara, Yoshio Mino ... 67
-

Published Annual
by
Department of Social Welfare
School of Humanities and Social Sciences
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY
Gakuen-cho, Naka-ku, Sakai
Osaka, JAPAN